

言葉のスクラム

～令和2年2月実施 生涯学習部職員ヒアリングシートのヒントをもとに
「熟議」の手法でビジョン策定に向けアイデアをまとめたもの



テーマ1 新しい時代のさいたま市生涯学習を充実させるためには

■ 生涯学習の施策・取組をどのように充実させていくのか

- **Societh5.0の時代**だからこそ、一人ひとりが**成長を実感**できるような仕組みを作りたい。
- 将来を考えるきっかけとして学び続け、**生きる力**を高めていくような生涯学習を推進したい。
- 生き方や仕事の**ヒント**になる学びをサポートしたい。
- **働き方改革**も推進して、余暇に生涯学習ができるようにしたい。
- **感性を豊かにする場**、学ぶ機会を得られる場として、住んでいる近くの施設を活用してもらいたい。
- **学校教育をサポート**する存在として、図書館をフル活用してもらいたい。
- 市民の**文化的アイデンティティ**を醸成する場としてもPRしたい。
- さいたま市民として、生涯学習を他に**誇れるような存在**にしていきたい。
- 学校を卒業しても「学ぶこと」は**日常を生活している中で誰もがやっている**ことを気付いてもらいたい。
- 本などから知識を得て、**文化や教養に触れたりする機会**を創出していきたい。
- 市民生活をより豊かにする、**余暇も含めたlife**（生、生活）のサポートをしていきたい。
- ボランティアの方の**やりがい**を充実させる取組を考えていきたい。
- **親子で参加**できるイベントを開催して、生涯学習に対する意識を**幼少期**よりはぐくんでいきたい。
- 生涯学習で得た知識や経験を**次の何か**（仕事・ボランティア活動等）に活かす仕組みを作りたい。
- 市民に生涯学習の**成果を発表する場**を多く設定して学習の楽しさを伝え、広げていきたい。
- 様々な人が館を訪れ、館を利用し、逆に**館へ情報が還元される**ような仕組みを作りたい。
- 誰一人取り残さない**SDG s の観点**を取り入れ、世界の潮流に合わせて市民意識を高めたい。
- 学ぶことに参加する**ハードル**を下げたい。
- 人と 知識、情報を結び付け、**生涯にわたる学び**を支援できる仕掛けを作りたい。

■そのために何を実現していくのか

- 文学活動や子育て講座等を充実させて、市民の**心の豊かさ**や**暮らしの質**の向上を図れないか。
- 魅力ある事業を実施して、**リピーター**を生む取組の充実できないか。
- 市民の「**学ぶ喜び**」や「**活かせる場を持つ喜び**」を掘り起こすことはできないか。
- イベントによって地域住民の**QOLの上昇**を図れないか。
- 退職後に孤立せず、人生100年時代を**生き抜ける**ような支援ができないか。
- 図書館を「**知**」の**宝庫**としてPRし、「**心の栄養**」となる読書の魅力発信をできないか。
- 時間や場所に関わらず**気軽に参加できる**機会を生み出せないか。
- **市民生活が潤う企画**とは何かを問い続けていくことが重要ではないか。
- 成果を上げた団体には、何か**インセンティブ**が生まれるような仕組みを作れないか。
- **競争原理**を取り入れるなど、今までとは違った切り口の企画を練れないか。
- 成果が**オンライン**上で競えるなど、若い世代が興味を示してくれる取組を検討できないか。
- 老若男女を問わずに**当事者意識**を持って自然に地域のために集う場を作れないか。
- 「**学ぶこと**」が「**楽しいこと**」と認識されるような機会を多く設けられないか。
- 人生100年時代を迎える中、**高齢者の社会貢献活動**が行われる環境を整備できないか。
- 後世にさいたま市の歴史と文化を残す場や取組として、**市民に愛される**生涯学習を推進できないか。
- **わくわくする出会い**がある場所、人の自立を助け、育て、文化をはぐくむ場を実現できないか。
- あらゆる世代が学習に限らず、**余暇としても満足できる**場所を提供できないか。
- 生涯学習の**状況を把握**し、本市の生涯学習とは何かを具体的に示していく。
- **ネーミングライツ**を利用し、情報を発信していく。

- **SNS**の活用などにより情報を放射状に伝え、若い世代へのアピールしていく。
- 市長部局等との連携による横のつながりを持った**ネットワーク型行政**の一層推進していく。
- コーディネート、ファシリテートの研修など**生涯学習団体を支援**する取組を実施する。
- 学ぶことの喜び、楽しさを体感してもらい、**生涯学習人口の増加**を図る取組を充実していく。
- ウォーキングイベントなど**健康づくり**と関連付けた取組を展開する。
- 多種多様な分野で市民の学習意欲がわくような企画を行い、**マンネリ化**を防ぐ。
- 市民の学習意欲を促進し、**知的欲求**を満たし、また課題解決を支援する場づくりを行う。
- **働いている人**など、平日に時間が取れない人の学びの充実も図っていく。
- 高齢者だけでなく、子どもや主婦等の**若年層も参加できる**活動も充実させる。
- 生涯学習に取り組むことの**効果やメリット**を分かりやすく打ち出す。
- **Twitter**の広告 ・ 広報誌やICTを活用してPRしていく。
- **著名なゲスト**を呼んだ講演会を企画する。
- 情報を得る、学ぶことによるメリットを強調し、**学習に年齢は関係ない**という意識付けを行う。
- 生涯学習は施設に赴いて学ぶだけではなく、「**いつでも どこでも ひとりでも**」できるということを広める
- **小学生、中学生時代**に生涯学習施設に触れる機会を作り、増やしていく。
- 市民から生涯学習の推進に向けた**生の声**を聴く。
- まずは興味を持ってもらうため、**楽しんで参加できる**ような企画を用意する。
- **スクラップアンドビルド**を忘れず、新規事業を立ち上げたときは何かをスクラップする。
- 学びや運動などを自主的に行う楽しさや重要性を**子どもの頃から教える**取組を推進する。

テーマ2 魅力的な生涯学習関連施設とは

■ 魅力的な施設の姿とはどのようなものか

- **毎日でも来たい**と思わせる魅力あるアイテムがある。
- 高齢者や子どもも障害のある方でも**気軽に立ち寄れて**開放感のある施設。
- 年齢層を問わず学べる**地域の学習センター**のような存在。
- 全ての人々が楽しく利用でき、色々な意味で**社会の核**となるもの。
- 様々な情報が融合した**ハイブリッド**な知的な空間。
- ちょっとしたスキマ時間に訪れたいくなるような、**日常に溶け込んだ**場所。
- **暮らしに寄り添った**、なくてはならない存在。
- 個人の学習意欲を身近な場所で**日常的に支えている**場。
- 幅広い年代の**ニーズ**に答えながら、子育て支援、ビジネス支援や生涯学習を促進する施設。
- 高度にネットワーク化、マルチメディア化された世界に対応した**多様な情報**を提供する場。
- 誰もが**安心**して使える**安全**な施設。
- **社会の変化**に合わせたサービスを提供できるところ。
- **リラックス、リフレッシュ**できる場所。
- **非日常空間**、芸術的な感覚を味わう場。
- **誰でも使いやすい雰囲気**があり、**学びのきっかけづくり**を行う身近な存在。
- **地域の知の拠点**であり、社会を構成する個人ひとりひとりにとっての**知識の宝庫**。
- 知る自由を保障してくれる、個人と社会の幸福のための**知のセーフティネット**の場。

■そのために何を実現していくのか

- 展示や講座の**スペース確保**、**駐車場の充実**、**利用時間の拡大**を図る。
- ICTやAV的な展示など、来観者の**知的欲求**に効果的に応えていくための機器を整備していく。
- 生涯学習施策の目的と、それに伴う社会教育主事、学芸員、司書等の**役割を明確化**する。
- **社会教育主事、学芸員**等を増員する。
- 学芸員が継続的に学習し、**専門性を高めていく**ような体制を作る。
- **新しいアイデア**を自由に出せる職場環境を整える。
- 中長期的な視点、専門的な知識、マーケティング能力、**チャレンジ精神**などを高める。
- 公共・民間・デザインの**バランス**の取れた視点を導入する。
- アンケート結果等の分析や市民、**利用者の声**を基にした業務改善を行う。
- **親子講座**を充実したり、**新たな発見**や体験ができると感じさせる展示を工夫する。
- GPS機能を利用した各種**スマホアプリ**のスポットとして積極的に登録してもらう。
- 「**来てよかった、また来たい**」と思われるよう、職員の接遇や掲示物のキャプションを刷新する。
- 魅力のある体験型の企画や**若い人向け**のイベントを充実させる。
- 個々の**学芸員の専門性**を活かして、発信していける環境をつくる。

テーマ3 地域コミュニティを活性化するためには

■ 生涯学習を通じて、地域コミュニティの活性化をどのように図るか

- 学ぶことを通じて、市民が**郷土愛**をはぐくみ、**地域の発展**が促せるような施策を行いたい。
- 市民の**郷土意識**を高め、**ここが故郷でよかった**と感じられるように取り組んでいきたい。
- 誰もが楽しめる**憩いの空間**を作り、地域にとって憩いの場、気軽に集える場を築きたい。
- 生涯学習を通じて市民が**郷土に誇りと愛着**を持ち、**地域に貢献**していける社会を作りたい。
- 地域文化の継承、創造、地域づくりや地域課題の解決に資するための**拠点づくり**を行いたい。
- 市民の**シビックプライド**に寄与できるような存在となりたい。
- **地域にある資源**を活用し、様々な人に様々な場所を提供したい。
- 地域の情報を**共有**し、**発信**できる場でありたい。
- **差別や偏見のない**地域社会を構築していきたい。
- **世代間交流**を深めて、地域の活性化に結び付けたい。

■そのために何を実現していくのか

- 自分が住んだり働いたりしている地域について**愛着が高まる**ような講座や企画を充実する。
- **文化財をPR**し、地域を大切に作る気持ちが芽生えるようにしていく。
- 生涯学習によって**シビックプライドを醸成**し、**まちのブランド化**を図っていく。
- 少子高齢化など**地域課題の解決**に資する施策の充実していく。
- 高齢者への施策だけでなく、**若者を育てる**活動を展開していく。
- 学校を核とした地域づくりの切り札として**コミュニティ・スクール**をPRしていく。
- **チャレンジスクール**による地域住民のやりがい向上を図っていく。
- **未来くるワーク**による企業と地域のつながりを、地域防災や防犯に活用していく。
- **STEAMS教育**を推進し、若い世代が美術に関心を持つよう、地域の文化力向上に結び付けていく。
- 図書館の利用を通じて、学んだことをこれからの**社会に活かしていける**ような人材を育成していく。
- **学校と地域の連携**を進めることによる、地域への愛着や**住民満足度の向上**を図っていく。
- さいたま市民としての**アイデンティティの確立**を支援していく。
- **地域人材**を発掘し、ボランティアをはじめとした各種取組の高齢化への対応を図っていく。

テーマ4 つながりを深めるためには

■ 生涯学習によって生まれる「つながり」とは

- 何かを学んでみたいと思ったとき、学べる場所や仲間を**身近に見つけやすい環境**
- 人と人が関わり**新しい関係**が生まれる場所や取組
- **フラットな関係**で人が変わるネットワーク
- 学びを通じて、**地域**の関係を深めていけるような存在
- 誰もが**主体的**に様々に学びあう姿
- **目的をベース**につながれるもの
- 「人と知識」「人と人」「人と地域」をつなぐ**場所**
- **多世代**で交流できる場所
- 地域の歴史、文化、先人の生き方を学ぶことで**郷土愛を生み出す存在**

■ そのために何を実現していくのか

- 「人材バンク」のような、人的ネットワークを広げ、暮らしの質を上げる取組を推進する。
- 新しく市民になった方へ広める**出合いの場の創出**などにより、住民相互の絆を深める。
- 団体や個人の取組を通じて**ネットワーク化**を図る。
- **地元大学**と連携した研究会の組織運営など、行政関係者以外との意見交換や協働に取り組む。
- 一人で悩み考える**人の助けになる**、様々な事につながれる場を作る。
- 情報を得るだけでなく、**自ら発信**したり、仲間づくりをしたりなどの取組を充実させる。
- 学習、仕事、余暇、介護など、**ライフステージ**のどの段階においても親身に寄りそっていく。
- 人の意識を変えるためには**熱量の高い人**が必要であり、そのような人材を発掘する。
- 高齢社会のコミュニティを維持するため、**世代を超えた交流**を活性化させる。
- 対面以外（**オンライン**）などのコミュニケーションを積極的に取り入れる。
- 高齢者同士が**仲間づくり**や交流が出来る場や機会を提供する。
- 子どもや青少年の自主的な**サークル活動**等を支援する。
- 地域社会に働きかけ、他の機関等と対話、連携して**社会への還元**を図る事業を推進する。
- 企画に加わる若者を増やしたり、**若者と年配の方が**関われるような講座を実施する。